

新日窒工場へデモ

漁民ら四百人が氣勢

水 俣

「工場の汚水処理を完全に実施せよ」

「会社はわれわれをほし殺す

」「狂死はもうごめんだ」など補

償問題と生活の即時安定を叫ぶ水

俣漁協と鮮魚仲買商組合員約四百

人は六日午前八時すぎ同市丸島の

魚市場前を出発、プラカードを揮

し立てて折から降る雨の中をデモ

行進、四ツ角を通り市役所に同九

時すぎ到着、中村市長の激励、漁

上漁協組合長のあいさつのおと漁

民代表中岡さつきさんが「市およ

び市民のあたたかい同情を感謝す

るとともにさし追ったわれわれの窮状をよく理解して愛の手をさしのべて下さい」と血の叫びを行なった。

このあと中尾同仲買商組合長が

「千六百人漁民家族を窮地にお

としれたのは新日窒で市民の

世論を盛りあげて団結、一日も

早く同問題の解決を促進しよ

う」など叫んだのち同九時半再

びデモ行進に移り、本通りを通

って新日窒水俣工場正門まで

行進、代表と西田新日窒水俣工

場長との話合いに入った。

漁民たちは同十時十五分日窒工場

になだれ込み同工場庶務課玄関前

で川村庶務課長を追いまわし、玄

関のガラスを割り庶務課廊下など

を「ワッショイ、ワッショイ」の

かけ声とともにデモリ、一時は収

拾つかず「工場長を出せ、工場長

に会わせろ」など叫び、結局漁民

側は十六人の交渉委員を選び工場

側西田工場長、石野同次長らに中

村市長も出席、庶務課会議室で交

渉を行なった。